

大学が夏休みに入った途端、
祖父の持つマンションの手伝いを
命じられてしまった俺・江戸川章。

あゝ、
だつり〜……
はあゝ

仕事の内容は、マンション内にある
住人専用プールの管理だった。

ばちゃっ

どうせ人も来ないだろうと受付で机に突っ伏していたのだが――。

たはひん

どうしたの？
……ってゆーか、
寝ちゃってる？

大丈夫ですか？
あの、体調が悪いん
だったら……

はひん

……はひ？



声に反応して慌てて頭を上げると、
目の前にはすごいモノがあった!!

ふふ

うおおおおおおおっ!?



キミ、今日から来た
プール管理の人よね、
あははっ♪

……あの、本当に
大丈夫ですか？

すみません、
大丈夫です！

っっ
俺はっ、江戸川章っ、
今日から1ヶ月、プールの
管理をっ……



私は木山梨香です、
よろしくお願ひします

はいつ、よろしく
お願ひいたします!

〇〇

引引

へえ、そうなの、
あたしは南野蘭子、
くすつ……



さてと、そろそろ
始めましょうか、しっかり
ほぐしとかないとね

ええ……それじゃあ、
今日もお願いします

受付を済ませた二人は、
準備体操を始め――。



じゃ、準備
体操しましょ♪

はい！
いっちに！
さんしーっ

うおおっ………！

！！

はい、息を吐いて、
そのままゆっくり〜
ふう、はああんっ♡

はあ

はあ

はあ

はい……
はあ、あんっ♡

んっ…

ただのストレッチなのに、
いちいち吐息が艶っぽい。

ああ、最高の
眺めだ……

んっ…

んっ…

しゅっ
しゅっ
しゅっ

しゅっ

俺は目の前のモノを
じっくりと観察しつつ、
バレないように勃起ペニスを
シコっていた……。

数日後—。



ちよつといいかしら？
相談があるのよねえ……

今日は蘭子さん一人だけが
プールに来ていた。

二人の都合が合わなくなったようで、しばらくは別々に利用するらしい。



なんでしようかつ!?
俺でよければ……

突然の相談に、
鼻の下を伸ばしながら
大声で了承する俺。

じゃあ、こっちに
来てちょうだいな？

こっちで、聞いて
欲しいの……

もじ

もじ

はい……!

俺は、操られるかのように
彼女と一緒にプールに入った――。

あらあ、やっぱり立派ねえ♪
旦那のより大きいわあ……

わあ

くはくは

びんっ

ちよ、蘭子さん!?!

いきなり下腹に
おっぱいを押しつけられ、
ペニスを取り出される。



あなた、この前
あたしたちを見て
シコってたでしょ？

おは

おは

ぜんぶ……
聞こえてたわよ♪

おは

大慌ての俺に、蘭子さんは
色気たっぷりな笑み。



ふふふ、
久しぶりだわあ、
こういうの……♪

若いコの勃起ブツなんて、
くすっ、いつぶりかしらあ

んっ…

あんっ♡

ん

ん

すみません、
オナッてて

いいじゃない、
恥ずかしがること
なんてないわ

あたし、最初から
誘ってたしね♪

ばちゃ
ばちゃ

ふふっ

何言って……
おおっ……!!

いきなり蘭子さんが手コキを始めた。



はあっ

蘭子お姉さんはねえ、
キミみたいな若い男の子が
大好きなの♪

エッチなイタズラしたく
なっちゃうのよねえ……

んっ……

ムク

ムク
ムク
ムク……

ばちゃっ

ばちゃっ

ううっ……

あら、もっと大きくなってきた
やっぱり、若いっていいわあ♪

んっ…

ばちゃっ

ムコ

ムコ

びゅっ

ムコ

ほら、人妻お姉さんが、
スッキリさせてあげる♪

お姉

俺が快楽にうっとりしかけている間に、
さらに次のコトが起こっていく。



んちゅ、ぴちゅっ、
んちゅばっ……♡

ふふ、ガツチガチね、
ちゅ、んちゅばあっ

しゅっ
しゅっ

びゅ

れろ
れろ

ちゅば

びゅ

びゅ

んっ

んっ



いいわあ、いいっ、
この感じ……♪

熱くて苦くて、
青臭いの……

うわっ……
そんなことされたら、
出ちやいます……

ぐわっ

れっ
ろっ

しゅっ

れっ
しゅっ

ぐわっ

んっ

んっ

ああっ、美味しいわあ、
こういうのは定期的に
摂らないとほお……♪

ほら、出しているのよ、
出しなさいっ……！

マジで食われるっ、
待ってっ、ああっ！

ぷちゅっ

れんぷ

ぽん

んっ

しゅっ

ぎゅっ

しゅっ

じゅぷっ

じゅぷっ

しゅっ

んっ

？
！！

んっ



うあああつ……!?!?

びゅーい
びゅい

びゅい

びゅーい

びゅい



ああん

びゅッ

びゅッ

びゅッ

びゅッ

びゅッ
びゅッ

あああん♪
いいわ、いいっつ、
すごい量ね!

さすが、若いコは
いいわあ、あんつ、
どろどろ、濃いい



あぁっ

んう、生臭い……
ほんとに濃厚ね、ねばねば
糸を引いて、欲望まみれ

びちゃっ

びちゃっ

びちゃっ

くすっ♪
溜まっていたのねえ、
ふふふっ……



ふう……
まだまだ元気そうね、
章ちゃん？

もっともっと、
気持ちよくなりたい
わよねえ？

はあ、はあっ
えっ……っ？

ぬちゃっ

とろ……

とろ……

とろ……

とろ……

とろ……

顔中に精液を付着させたまま、
いやらしくにやりと笑う蘭子さん。

ほら、今度は、一緒に
気持ちよくなりましょうか？

俺は彼女に導かれるまま、
プールから上がり——。





ふふ、ほら、
もう入ってる

これだけガッチガチなら、
当然すぐに突き刺さって
くるわよねえ……♪

ひひっ

おい

んっ…

気がつけば、
ねっとり絡みつくような
膣肉に呑み込まれていた。





ええっ……
うああっ！

はい、このまま
じっとしててね？

んっ…

ああ、久しぶりの
若い男の子とのセックスう、
ふふ、最高お……♪

はっ

はっ

あはは
あはは

あはは

あはは

硬いわ、太くて長くなって、
子宮までこじってくる感じ……
すごいわあ、キミ……♪

もっと、欲しいっ……
こんなゆっくりの動きじゃ
物足りないわあ……♪





んあああつ！
いいわあ、もつと！
もつとさせてっ！

わああああ……！！

ほっ

あっ

まいっ

ほら、おとなしく
してなさい、んふふ♪

んっ

あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ
あゝあゝあゝ

んっ

んっ



ああっ、ズコズコゴリゴリ、
えぐられちやいそう♪

いやらしい穴、
ほじくり返され
てるわあ……

あ

ん

ん
ん

ほ

ん
ん
ん

ん

ん

ん

ん
ん
ん



はうう、食われるっ！
持ってかれるっ……！！

ほっ

ああああん♪

若い男の子のっ、
元気なモノ、
ちようだい！

おっぱい

おっぱい

おっぱい

おっぱい

あ

んっ

もっと欲しいっ、
全部あたしのよおお♥



ねえ、
章ちゃん……
出して？

お願い、あたしの中に、
蘭子お姉さんの中に、
思いつきりぶちまけてえ♪

はっ

あ

おは

はは

はっ

おははは

はは

おははは

はは



どぶどぶたっぷり、
濃厚なの出して欲しいわ♪

ほら、いいわよ、
このまま中に出して？

そんな、中につ、
ぐふっ……！

おっぱい

おっぱい

おっぱい

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

んっ

はあっ、出して、
思いつきり出して！

ほら、出し惜しみなんて
許さないわよ、出しなさい！
思いつきり、出してええ！！

はっ

おっ
おっ

おっ
おっ
おっ

あっ

んっ

ああ、出る、出ますっ、
すみませんっ……！！







あはああ……すごいっ、
気持ち、いいっ……

いくわあ、久しぶりの
中出しっ、最高よ!!!

んはは

びん

びん

んんん

んんん

んんん

びん

んんん



ふふ、感じ入っ
ちやってるの？
可愛いわねえ、
学生くんは♪

うはっ……
んはああっ！

んっん

いいわあ、貪欲なくせに
純情で……章ちゃん♪

んっん
んっん

んっん
んっん

んっん
んっん

んっん

やがて射精が終わり、俺たちは深々と繋がり合ったまま息を整えていた。

これが……セックス

くすくす、章ちゃんも、気持ちよさそうね？

どうだったかしら、知り合って間もない人妻に筆おろしされちゃって……





ねえ、章ちゃん、
このことは、お祖父ちゃん
には内緒よ？

ちゃあんと秘密にして
いられたら、また気持ちいい
ことしてあげる……♪

おっぱい

おっぱい

おっぱい

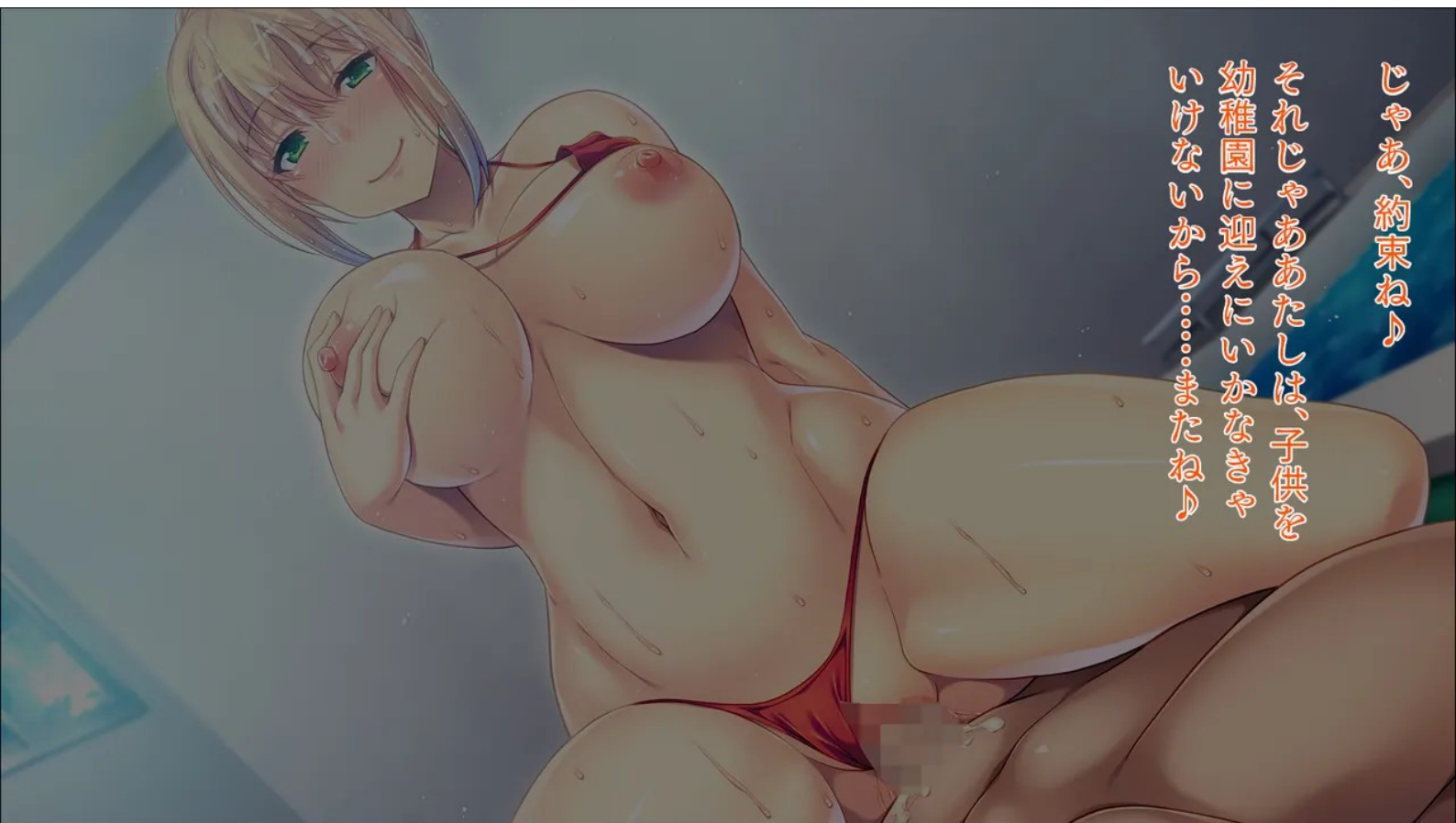
おっぱい

おっぱい

おっぱい……

じゃあ、約束ね♪

それじゃあたしは、子供を
幼稚園に迎えにいかなきゃ
いけないから……またね♪



蘭子さんのパイズリレッスン ♡

再び蘭子さんが一人で来てー！。

ふふ、やっぱりガチガチね♪
そんなに期待してたのお？

ふふっ

そりゃそうっすよ！
当たり前じゃないですか

でも、だあめ♡
させてあげない

ばちゃ

ばちゃ



セックス覚えたてのキミじゃ、
あたしが満足できないでしょう？

ええっ!?!?
そんな……

安心して?
代わりに、こっちで
練習させてあげるわよ!

ふふ

ばちゃ

すると蘭子さんは、俺の肉棒を掴み――。



あはあん……♪
ほら、気持ちいいでしょ、
もっとしてあげる

んっ…

おにゃ

弾力溢れる大きなおっぱいで包み込んだ。



こうやって、
パイズリで……

ぐっ、すげっ、
あぁっ……!!

腰の動かし方、
しっかり覚えなさいね♪

ほっ

あゝ

あゝ

んっ

あゝ

あゝ



ほおら、これで
すっかり慣れて？

気持ちいいことに
慣れて、テクニクを
鍛えましょうね♪

おにゅ

おにゅ

うふふ、
相当気持ちいい
みたいね？

おにゅ

おにゅ

おにゅ

おにゅ

我慢汁も溢れて
きちゃってる……

そりゃ、こんなこと
されれば……ぐぐっ！

んっ

んっ

んっ



あら、もう出そう
なんじゃないの？

出しなさい！
思いつきりブシユブシユ
出して、あたしに
よこしなさい♪

おにゅ
おにゅ

んっ

んっ

んっ





思いつきり、
出さない!

空っぽになるまで、
お姉さんに……
よこしなさいな♥

まにゅ

くに

おに

くろん

まにゅまにゅまにゅ!





出して、ほら、ザーメン、
たくさん出してちょうだい！

ドクドク出してえ、
はあん……♪

セクッ
セクッ
セクッ

セクッ
セクッ
セクッ

♡
♡
♡

いいわっ、いい、
もつとよこしなさい!!

もつともつと
出せるでしょ!!

あつという間に射精してしまった俺を、
蘭子さんは笑いながら見上げ――。



うおおっ……!?!?

ほらほら、
まだ終わりじゃ
ないでしょ?!

おにゃ

ぬちゃ...

おに

腰振り腰振り、
ほらっ、続けなさいっ

まだまだよこせと責め立てて、
搾り上げる。



あはっ♪ ほらあ、
もう、お汁がにじんで
きてるわよ！

連続なのにすごいわねえ、
ほおらほらっ、もっともっと
出さない……んんっ！



あああん♪
来るわ、ほら、
動いてる！

うあっ、出る、
出るううううっ！

根元からビクビク揺れてわよ、
出しなさい、章ちゃん……！

びん

びん

びん

おい

しゅ

しゅ

しゅ

おにい

おにい

おち

おち

あ

ほ





うわあぁっ!!!

びしょ濡り

びしょ濡り

びしょ濡り

びしょ濡り

あぁ

全部搾り
取られる！



ペニスがぎゅうぎゅう搾られ、
思わず目が回った。



はあ、
いいわあ、
若いコ♪

んっ...

あぁ...

クッ
ッ

クッ
ッ

んっ...

あぁ...

ムッ...

若いとギンギン
ビンビンね♥

あぁ...

ザーメンもこんなに濃くてどろどろで、
ふふふ、とっても好み……♪

私とセックスしたかったら、
もっとこういうことに慣れないとね♪



プールサイドで背面座位♥

何度かの特訓を経て、ようやく
蘭子さんから本番のお許しが出た。



んっ...

グッ...

んっ...

あゝ

ふふっ、章ちゃん、
そんなに蘭子お姉さんと
セックスしたかったの？



だってもう……
我慢できなくて

はっ

くすっ、
いいわ♪

んっ……
さすがね……
ギンギンじゃない



ううっ、気持ちいいです……！

でも、気持ちよくても、すぐにイっちゃダメよ？

あにゃ

フフ

あにゃ

あたしのことも、満足させてよね？

すると、蘭子さんは俺の返事も
待たずに腰を使い始めた。

やっぱりいいわあ、
突き刺さってくるう♪

ふふふ……
ほら、このまま、
愉しみましょ？





はひっ……
うぐぐっ！

あ

まひっ

まひっ

ほら、章ちゃんも
しっかり動いて！

まひっ

まひっ

まひっ

まひっ
まひっ

まひっ
まひっ

んっ

はっ

気持ちいいんでしょ？
もっともっと気持ちよくな
りましょ、ほら……っ

射精をこらえるだけで精一杯なのに、
蘭子さんはガンガン動く。



うぐぐぐっ………!!

はっ

おっ

おっ

あゝ

おっ

おっ



いいわ、いいつ、
その調子よ、章ちゃん！

そのまま……
ぐいぐい来てえ♪

あ

ん

あ

あん

あん

あん

ん

ん

ん

あん

あん



あ、

あ、

おっ
おっ

おっ
おっ

おっ

おっ
おっ

おっ
おっ

に
に

あ、

お姉さん……
いきそおお♪

あん！ いいわ♪
章ちゃんの腰振り



精液、あたしの
膣内にちようだい！

出して！
あたしの中に、
思いつきり♪

蘭子さん……
そろそろ……

あー
おにい
おにい

おにい

あー
おにい

おにい

おにい

あー

あー

あー

あー



いいっ、
いいっ、
いいわあ！

どろどろっ、
流し込まれて、
イクううう！

ピクッ

ピクッ

ピクッ
ピクッ
ピクッ

ピクッ
ピクッ
ピクッ

ピクッ！



いくわ、全部、
いっちゃうっ……

びくっ

びくっ
びくっ

びくっ

びくっ
びくっ……

びくっ

あぁぁぁ!!



はっはっ...

はっはっ

はっはっ...

はっはっ...

はっはっ...

はっはっ

はっはっ...

はっはっ

ふふふ……
上手にできたわね♪



あーっ

ぬちゅ...

ん...

シロ...

あーっ

あーっ

ん...

あーっ

この調子で、これからも
お互いにいっぱい気持ち
よくなりましょ.....♥



ふふ、章ちゃん、すこしく上手になっして……！
お姉さん、負けちゃっしそっうよ……！

競泳水着で水中セックス♥

今日は珍しく、
一般客もプールを利用していた。

蘭子。

やっほ、章ちゃん

蘭子さん、こんにちは……
って、え、その水着……





はいっ……
もちろん好きです

どうかしら、
男の子ってこういうのも
好きでしょう？

ぷんっ

ぷんっ

おっ

んっ

あ

で、せっかくだもの、
今日は、一緒にプールで
運動しましょ？

競泳水着記念よ♪

もちろん、
それは普通の運動のはずもなく――。





ばちゅっ

ぬ
ぷ
ぷ
ぷ
...

ばちゅっ

ばちゅっ

ちよ、これって……
さすがにっ、ううっ

ばちゅっ

んっ

ばちゅっ

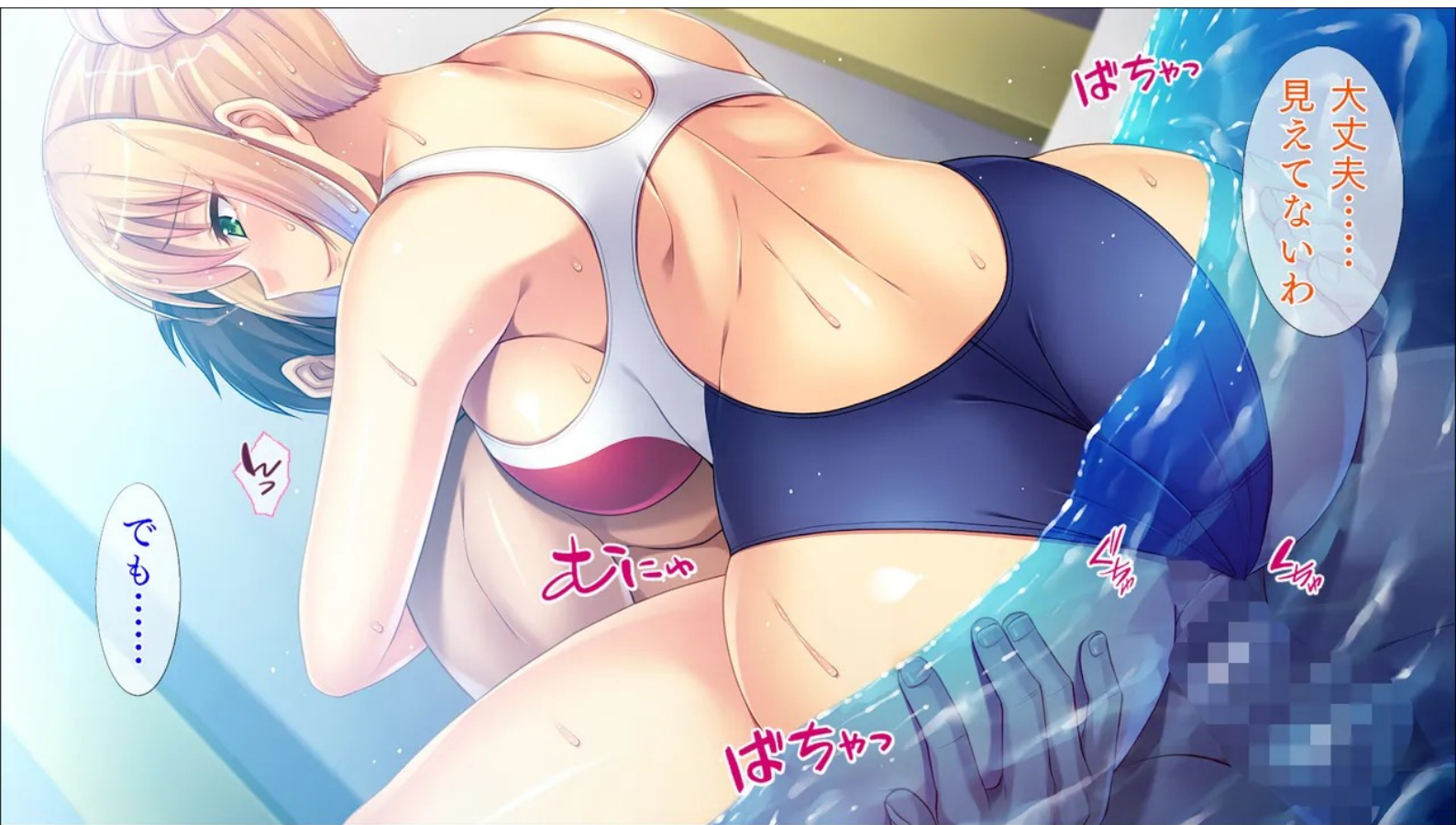
んっ

んっ…

んっ

プールに入った瞬間、
蘭子さんが抱きついてきて
挿入させられる。





大丈夫……
見えてないわ

ばちゃっ

おにゃ

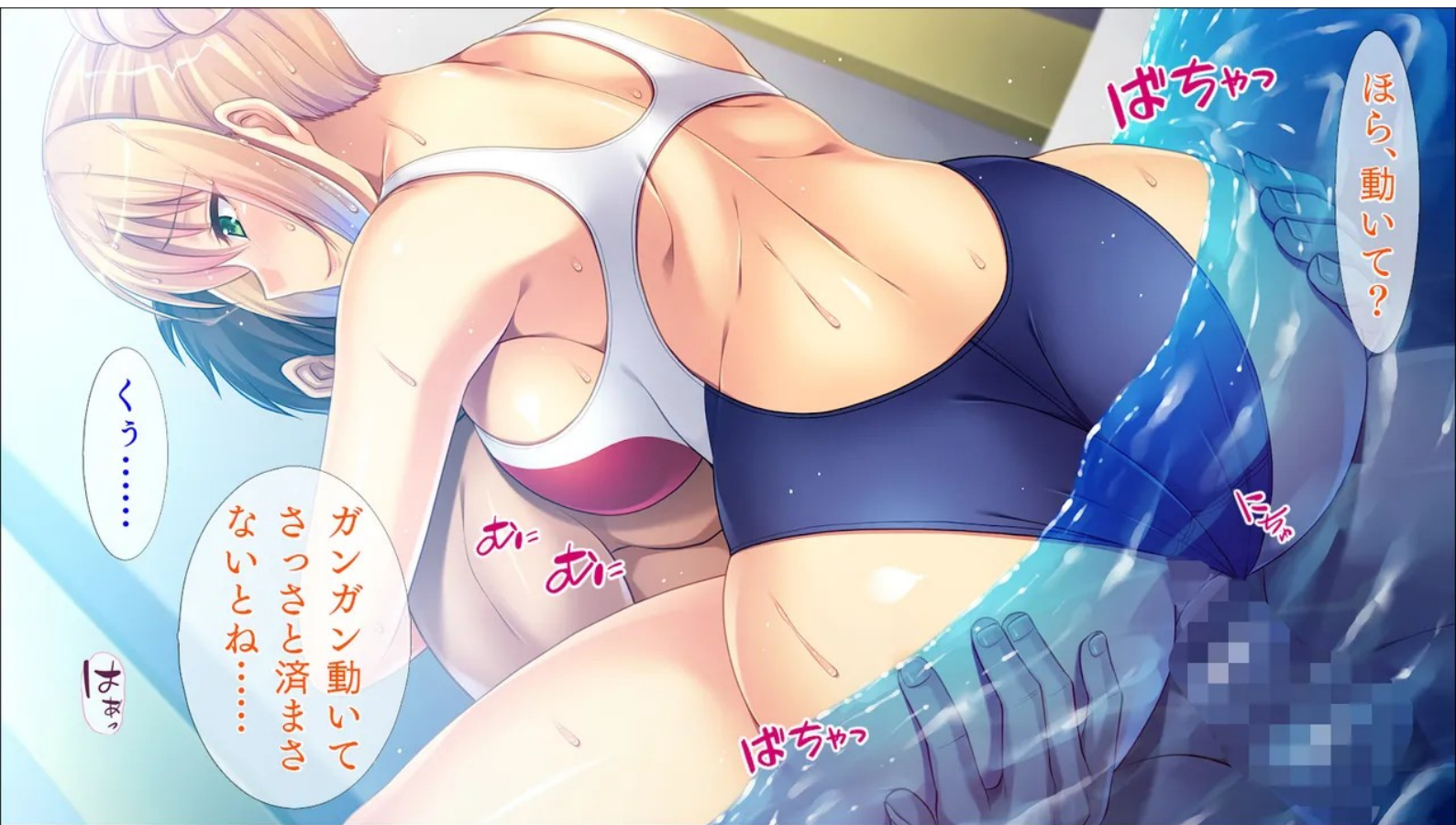
ばちゃっ

ばちゃっ

ばちゃっ

んっ

じゅ……



ほら、動いて？

ぽちゃっ

ぽちゃ

ぽちゃっ

おっ
おっ

ガンガン動いて
さっさと済ませ
ないとね……

くぅ……

おっ

俺は蘭子さんに導かれるようにして、
水の中でゆっくりと腰を振り始める。

ばちやっ
ばちやっ

ああ……
いいわあ♪

あ

ぬがっ
ぬがっ

ぬがっ
ぬがっ

ばちやっ

ぬがっ

ぎゅ

ん

ほ

しっかりと奥まで
突き刺さって、ズンズン
力強く来てる感じ……





ほら、もっと動いて
ちょうだい……

ばちゅっ

ばちゅっ

ぬるっ

ぬるっ

あー

ばちゅっ

ばちゅっ

ぬるっ

え……?

こんな風に……

あ

ん

蘭子さんが、自らも水をかき分けるようにして腰を揺らし始めた。



でも、叫べないわよね、くすっ……

ああん……♪
気持ちいいっ

あ



もし見つかったら、
あたしたちどうなるの
かしらあ、ふううっ

あ

あ

ばちゅ

ばちゅ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

おっ

ばちゅ

ばちゅ

あ

破滅ですよ！
プール管理人と人妻が、
こんなこと……！！

だが、スリルと緊張感のせいで興奮はますますばかりで――。

ばちゃっ

おっ
おっ

俺……
もう！

あ

おっ
おっ

おっ
おっ

ばちゃっ
ばちゃっ

おっ
おっ

あ

たくさん出して！！
二人でイキましょっ♪

ううっ、
出る！！

あ





ぽちゅっ

びゅんびゅん
!!

?
!!





気持ちいいっ、
いいわあ……!!

さすが、章ちゃん、
すごいっ……♡

びくっ

びくっ……

びく

びくっ

ばちゃっ

ぽんぽん

ばちゃっ

ぽんぽん



はあ、はあ……
大声出したいわ

くすっ、
ダメよね……
管理人さん？

ダメですよ……
はあ、はあ……

びくっ……

はあ

はあ

はあ

はあ



うふふ、いけない
ことするので、
燃えるでしょ？

普段以上に
感じちゃうわ♪

はっ

んっ

んっ

んっ

んっ

ああっ、あの子たちに見られ
ちゃってるかもっ……っ

こういうのって、クセになっちゃうわよ、
刺激的なんだから、ふふふっ……っ



蘭子さんと朝までセックス ♡

夏休みが終わりに近付いたある日、俺は蘭子さんの自宅へ招待された。

いらっしやい、
待ってたわ♪

たろん

お邪魔しますっ……

お腹空いてるんじゃない？
さあ、遠慮なくどうぞ♪

だが用意された食事は、いわゆる
精のつく食べ物ばかりで――。

ごちそうさま、
美味かったです

ふふ

うっ……!?

さ、そろそろいいわね?
それじゃ、お風呂にでも
入りましょ? うふふっ♡

そして、俺たちは
寄り添い歩きながら浴室へと向かった。



ふふっ、ほら、
じっとしてて……

ばっ

このまま、きれいに
洗ってあげるから

これって、ソコを
洗ってもらってる
ってゆーか……

!!

あゝ



そういえば、
今日、お子さんは？

全身を洗って
あげるんだから、
いいでしょ？

んっ

おに
く

んっ

く

実家に預けてきてるわ
あの子がいると、あたし、
母親になっちゃうもの

今の私はただの女
……セックスしたくて
仕方ない一人の女よ♪

蘭子さんの手に力がこもる。
俺も思わず、彼女の割れ目へ指を――。



あああん♪
気持ちいい

そのままズブズブ
入れて……

俺も気持ちいい
ですよ、蘭子さん



ほら、もっろ……
きぼちよく……
なってへえっ!

んっ

んっ

しゅっ
しゅっ

しゅっ

しゅっ

んっ

しゅっ
しゅっ

しゅっ
しゅっ

しゅっ
しゅっ



ううっ、俺も、
負けませんよっ！

蘭子さん、先に
イかせてあげます！

もう、すっかり
テクニシャン気取り
なんだから……

あたしも負けないうっ！
章ちゃんも、気持ちよく
なりなさいっ！





あん♪

指が突き刺さって、
かき混ぜられてるっ、
熱いい……

ううっ……
負けないっ

んっ

あ

ん

んんん

んんん

んんん

んんん



あはああ……
章ちゃん、すごほおい、
元気すぎひい……♪

もう、あらひ……
いつちやいそおよお

いってください！
俺も出るんでっ、一緒に、
いきましよう……！





おあおあ

ぐんぐん

おあおあ
おあおあ

ぐんぐん

おあ

潮っ、噴いちやうっ

しゅいんらん

おあおあ

おあおあ

ぐんぐん...

章ちゃんの、
すごいひい！

びくびくっ...

ドビュドビュ出て、
たまんないのお.....
まだ、イくううう！

うう、蘭子さんこそ、
すごいですよ.....

びくびくっ
びくびくっ

お互いのアクメ声が
風呂場に響いていく.....

ふふ、どんどんテクを
上げていくわね、キミ

あはは

ぬちゃ...

キミがー

あはは

アエッ...

あはは

あはは

さすが、若いと
どんどん発展して
いくわけね.....

キム...

ぬちゃ...

キミがー

キム...

はー

そりゃ、蘭子さんが
お相手ですから.....



でもやっぱり、さすが若いコ

こんなに出したのに、いつも以上にギンギンよね？ふふ、楽しめそう……

それじゃ、次はベッドに行きませんか？





本番のセックスはこれからだった。



待ちきれなかったのか、ベッドに着くなり
蘭子さんはいきなり襲いかかってきた。

私好みのヤリチン
ペニスに成長したわね♪

生ハメでこんなに激しく
動いてるのに、ちゃんと
我慢できてるじゃないっ



ほっ

蘭子、さっ……
ダメ、だはああっ!

あっ

それっ、それっ、もつと
搾ってしごいてあげる!

ズグッ

ズグッ

ズグッ

ズグッ

まじっ

わっ

もうひと頑張りなさい、
章ちゃん、あはあん……



欲しいの、章ちゃんの
ザーメン、欲しいっ♪

出して、出してえっ♪
たっぷりちようだい

出るっ、もう、
出まわすっっっ！

おにいちゃん

ズルッ
ズルッ
ズルッ

ズルッ
ズルッ
ズルッ

ズルッ
ズルッ
ズルッ

んっ

あ

ほっ





いいわあ、いいわ

ムチあった

ピクッ!

ピクッ

ピクッ

セクッ
セクッ
セクッ
セクッ



どろどろね、
濃すぎ……♪

これなら、まだまだ
たっぷり出るでしょ

ズレ

ズレ

ズレ

ズレ

ズレ

射精後も蘭子さんは動きは止まらない。

はあ、はあ、抜かすの
二回戦ってヤツね♪

今日は、枯れるまで
やり続けるわよ！

ぬぶっ

ぬぶっ

ぬぶっ

ぬちゅっ

ぬちゅっ

おっ

もう、徹底的にセックスするつもりらしい。
すぐさま激しい腰振りが始まった。



何度でもイって
ちようだいっ!

ぬぶっ
ぬぶっ
ぬぶっ

ぬちゅっ
ぬちゅっ
ぬちゅっ

ぬぶっ

ほら、章ちゃん、
遠慮はいらないわよ

ふふ、精液で
滑って気持ちいいわ、
またいつちやうう♪

たぶん



そのビクビクしてる
硬いモノから、いつぱい
出してええ……♪

ぬぶっ

ぬぶっ

ぬぢゅ

ぬぢゅ

ぬぶっ

ほら、出しなさい、
たっぷり注ぎ込んで

おにい
おにい

うううう……!!



あつ、ウソだろ、
また、出そうに……

どんどん出してっ、
ザーメンちょう
だいいい!!

じゅぽっ
じゅぽっ

じゅぽっ
じゅぽっ

じゅぽっ
じゅぽっ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ



ああっ、あたしも、
イっちゃうっ……!!

章ちゃんとなら、
何度でもイけちゃうわ、
いいーっ!!

ピクッ!

ピクッ

セクッ
セクッ
セクッ
セクッ

ピクッ



ズレっ

もっと、ちょうだいっ
……もっと、動くわ

章ちゃんも……
もっとしたいでしょ、
ほらあっ!!

ひっ……
ううっ!

ズレっ
ズレっ
ズレっ

ズレっ

そうして、何度かの射精を繰り返し――。



あら……
かなりお疲れね、
少し休憩する？

はあ、はああ……

お願いしますう、
ううっ……

はあ

はあ

はあ

はあ

んっ

んっ

ぬちや……

あゝ



はー

でも、さすがは若いわね、
だってまだこんなにギンギン
なんだから……♪

まだまだ……
もっと出るでしょ？

はー

くら

くら

はー

はー

はは、少し休めば、
まだまだイけます

そうね、小さくなっても
またあたしの中で勃起させて
あげるから……♪

さあ、今夜は限界まで
やるわよおー、おーっ！

やるぞ、
おーっ！

俺たちは、再び腰を振り始めた――。

ぬちゅっ

そして、朝——。

まさか、ほんとに
朝までできるなんてえ

このペニス、
最高お……♪



お互いさすがに疲れはあったが、
まだ繋がりが合っている。



さすがに
それは無理か

そりゃ無理ですよ、
でも、いいなあ……

じゃあその代わり、今、
思いっきり満足させてね？

ズッ
ズッ

ぬちゅっ
ぬちゅっ

あ

はっ



あ

はい、頑張りまっす！

あああん！
すごいじゃない、
章ちゃん！

あ

じゅぽぽ

じゅぽぽ

じゅぽぽ

ぬちゃ

ぬちゃ

ぬちゃ

あ
まだこんな力が
残ってたなんて

あ、
最後の力を
振り絞ります！

あ、
はあっ、さすがに、
若さには勝てないわあ

でも、負けても
いい気分……♪

じゅぽっ
じゅぽっ
じゅぽっ

ぬちゃっ
ぬちゃっ
ぬちゃっ





あ

また、いきそお……
キミでもでしょ、章ちゃん？

一緒にいきましょ、
あああつ……！！

ぬちゅ

じゅぽん
じゅぽん

ぬちゅ

ぬちゅ

じゅぽん
じゅぽん

あ

あ

出しますっ！





ズレッ

子宮までっ……
はちきれそうっ!

ズレッ
ズレッ……

ズレッ
ズレッ
ズレッ
ズレッ

ズレッ
ズレッ

熱くて……
焼けるわあっ!



まだ出るっ、
止まらない！

ズレッ

やだ、もう、息が
切れちゃって……

ズレ

ズレ

ズレ

ズレ

ぜえっ、はあっ、
すずいっ……！

ズレ……

うふうん……
ふふふっ……

はあ、はあ、
〜〜〜……

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

あーっ

一晩中たっぷりと射精し続けた。
おかげでもう、手足にも力が入らない。





はあ、はあ……
もう、無理……

まさか、私の方が
先に参っちゃうなんて、
思わなかったわあ♥

はあ

ん……

はあ

はあ

はあ

ぐんぐん

ぬちゃ……

ぐんぐん

ぐんぐん



こんなすごいペニス、
もう二度と出会えないわね……。

ますます、手放すの
惜しくなっちゃったわあ……。

ねえ、章ちゃん、夏休みが終わっても、
いつでも遊びにきなさいな？
いいでしょ、章ちゃん……。♡

その後—。

あはあ……章ちゃん、
もつと来て、奥まで♪

相変わらず
すごい締めつけ

あ

じゅぽん

じゅぽん じゅぽん

ぬめり

ぬめり

おにや

ん

は



夏休みが終わってからも俺は
蘭子さんの家を頻繁に訪ねている。

もっと、もっと、
もっと………

んっ

何回でもしたいわ、
何度しても足りない
くらいっ、んんっ

じゅっぽん

じゅっぽん

ほっ

あっ

ぬゅっ

ぬゅっ

ぬゅっ





章ちゃん……お願い、
もっ……もっ……

まだ、したいの、
イかせてえ……

蘭子さん！

あ

ん

は

ん

ん

ん



おっ
章ちゃんも、いきそう
なんでしょ、わかるっ

おっ
おっおっ
はあああん!
いくう、いくわ

おっ
いきますよー!

おっおっ

おっおっ

おっ

おっ

おっ

おっ



嬉しいっ、
幸せっ……

一緒に、イって
もう我慢なんて
したくないっ！

おっおっ……

おっ

おっ

おっ

おっおっ

おっおっ

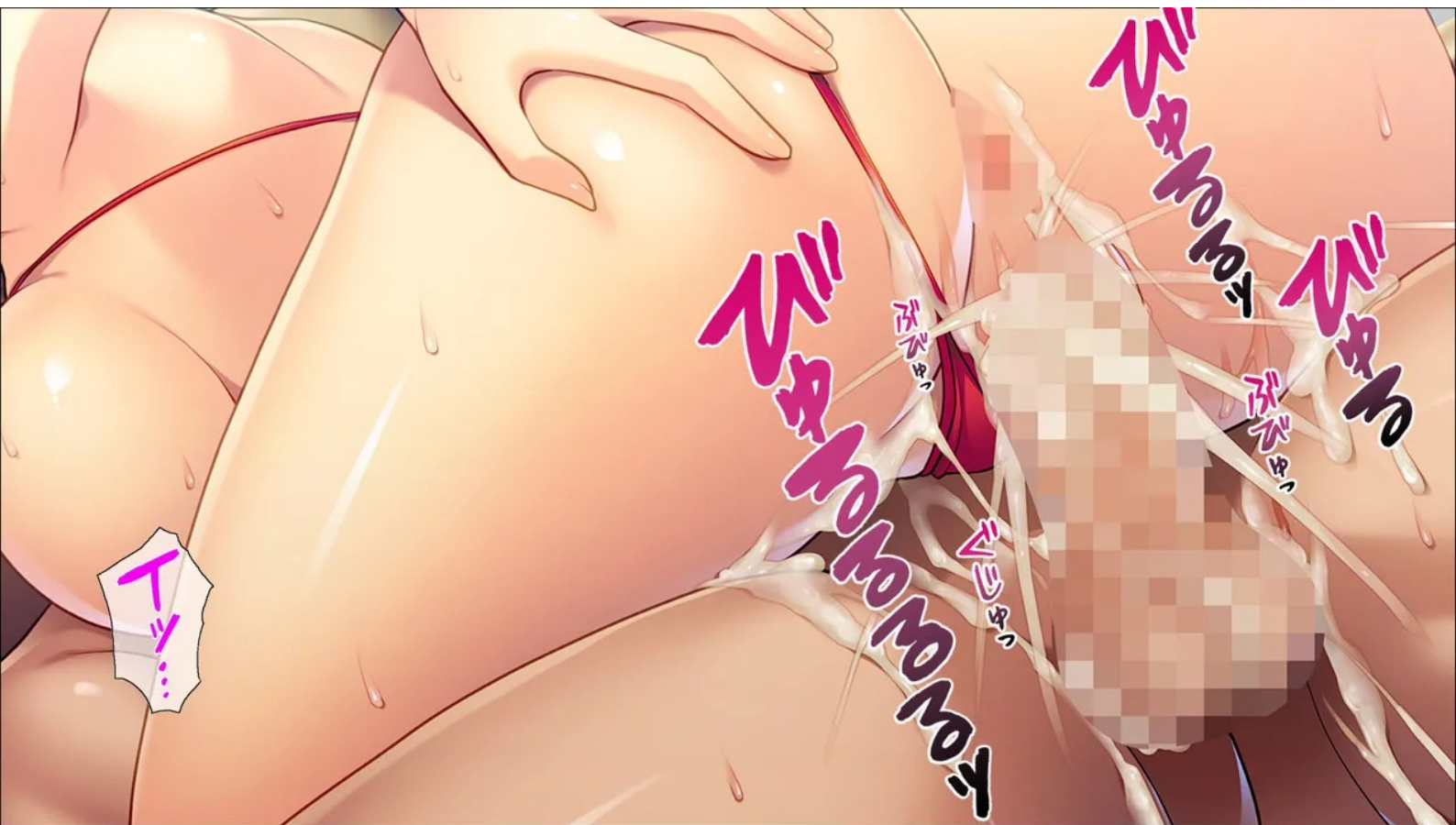
おっおっ

おっ

おっ

おっ

おっ







いっつ、章ちゃんっ♪
いっつ、熱いの、どろどろ
入って来てるの……!!

もっと、欲しい……
何度でも、してえ!

おあおあ

ぐんぐん

ぐん

ぐんぐん

おあおあ

おあおあ

おあおあ

おあおあ

おあおあ

ぐんぐん



はあ……
ふううう

ぬちゅ……

くっ……
くっ……
くっ……

ぬちゅ……

くっ……
くっ……

はあ……

はあ……

はあ……

はあつ……
はあつ……

はあ……

まったくもう……
人妻に5回連続で
中出しなんて……

きっと、そんなの
世界中でキミだけよ？
ほんと、元気ね……

はは……
すみません

んっ……





さてと、そろそろ、あの子を幼稚園に
迎えに行かなくちゃね。

それじゃまたね、あたしの章ちゃん♡

美人人妻との3Pセックス
ホテル編

夏休みが終わった後も、
俺たちの関係は続いている。

あはあん……♪

ああ、んっ……♡

そして、蘭子さんが誘ったらしく、
いつしか梨香さんも加わるようになった。



ねえ、早くう……

私も、もう
我慢できません
焦らさないでえ

むちっ

むっ

むっ

むっ

むっ

むっ

むっ

今日はどっちから
セックスしようか？



もう、疼いて疼いて
仕方ないのよお……
ねえ、章ちゃん？

お願い、
あたしから
してえ？

くくく……

ん

ん

ん

ん

ん

もぞ

もぞ

ん

もぞ

ん



今日は、
私からですよ、
章くんっ♡

ずるいです、
蘭子さん！

そうだなあ、
まずは……

というわけで——。

ちぎ…

ん

ちぎ

ん

ん

ちぎ

ん

ちぎ…

ん…

今日は、梨香さんから挿入する。



あはあ、
ああん！



あっ

嬉しいっ、
ひうう!

ああ……もう、
イっちゃいそう!

あっ

んっ

はっ

ズググ

ズググ

ズググ

んっ

んっ



ああっ、ダメ、
あたしもっ！

あたしにも、
入れてええ！

蘭子さんから悲鳴が上がったので――。



挿入されて悲鳴は嬌声へと変わる。



一番濃厚なのが
欲しいのおお♪

あたしから
先に中出しして
ちようだいな!

ほっ

あっ

あっ

あっ

ずるいですよっ……
私にもください！

また入れてえ、
章くんっ……！！

俺の中出し一発目を巡って、
悶えながら主張し合う二人。



俺は彼女たちの願いを同時に
叶えるべく、ペニスの位置を変えた。

ダメですよ？
二人とも、ちゃんと
仲良くしないとね

ちゅわんちゅわん
ちゅわんちゅわん
ちゅわんちゅわん



あたしもお、
たままないわあ♪

ゴリゴリ入れてっ、
隙間に差し込んでええ♪

ひあああ♪
擦られて、気持ち
いいですう!



はあっ、いいっ、
ものすごく硬くなって、
爆発しそうね……♪

すごいです……
もう、出されそうなの、
わかりますう！

じゃあ……
出しますよー！



あたしもイくわあ、
みんなでイきましょう♪

たくさん出して下さい！
いっぱい、精液くださいっ！

ほら、二人で仲良く、
受け取って……っ！





どろどろで
いやらしい匂い、
たまらないっ！

ねばねばで、
たっぷりい！

びしょびしょ...

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ

びしょびしょ



でも、この一人がこれだけで満足するわけもなく――。

そりゃ、平等にぶっかけですよ!



いい子ね章ちゃんは♪
ちゃあんと、二人平等に
してくれるなんて

ありがとうございます、
でもやっぱり、中出しじ
ゃないと物足りなくて……

あかね

あかね

あかね

あかね

あかね

あかね

あかね

あかね

あかね

あかね



そうね、中に……
奥にいつぱいぶちまけて
欲しいの……♪

ごめんなさい……
お願いしたいですう♥

何回じゃ
じゃあおちよー…

んっ…

んっ…

んっ…

んっ…

んっ…

んっ…

んっ…

んっ…

んっ…

んっ…

んっ…

んっ…

やったあ♪
さすがは章ちゃん！

わあ、嬉しい……
うふふふっ……♡

今日も、空っぽになるまで
頑張ることになりそうだ。

～おしまい～